

令和6年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川中学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和6年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

中学校第3学年、原則として全生徒

3 調査実施日

令和6年4月18日(木)

4 調査の内容

(国語、数学) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校調査は、国語、数学とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。 	
	【中学校 国語・数学 各50分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など 【20分程度】	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

本校の調査結果の概況

中学校

<教科に関する調査> は全国平均正答率を上回ったもの



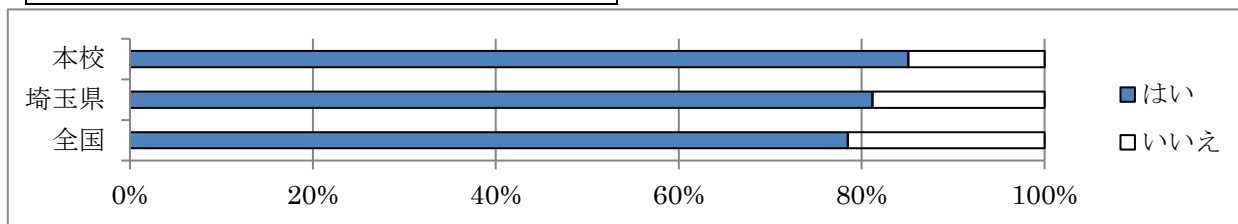
国語									
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
言葉の特徴や使いかに関する事項	3	66.2	59.7	59.2	話すこと・聞くこと	3	64.8	60.5	58.8
情報の扱い方に関する事項	2	62.4	60.2	59.6	書くこと	2	75.9	66.8	65.3
我が国の言語文化に関する事項	1	80.9	75.2	75.6	読むこと	4	56.4	49.2	47.9

数学				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と式	5	61.6	51.1	51.1
図形	3	48.6	42.4	40.3
関数	4	67.0	61.1	60.7
データの活用	4	56.1	57.1	55.5

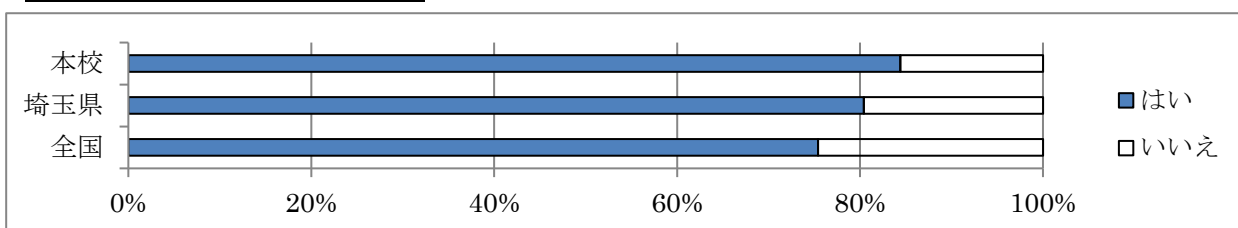
<生徒への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

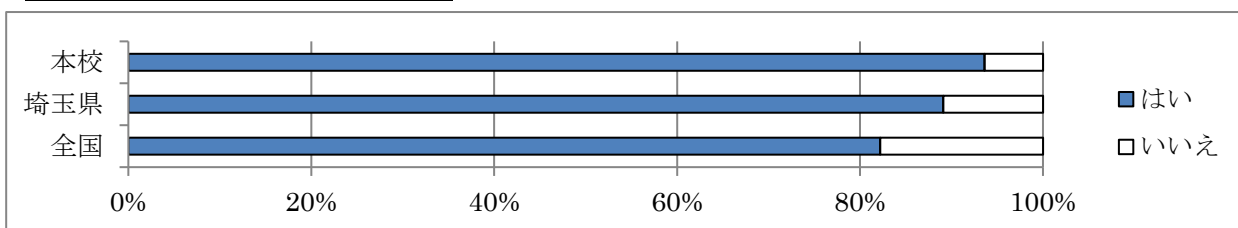
自分にはよいところがあると思いますか。



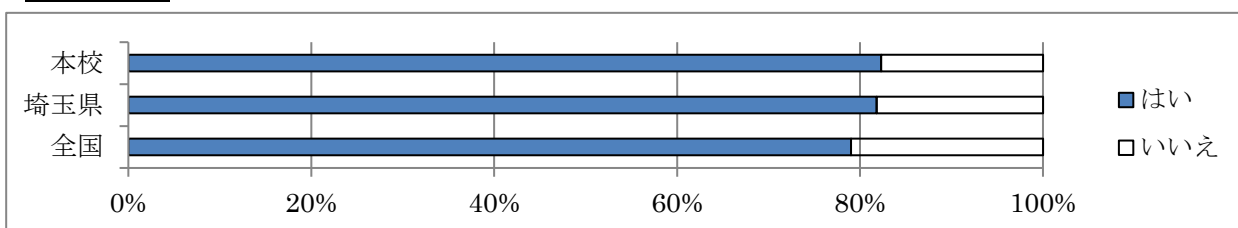
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



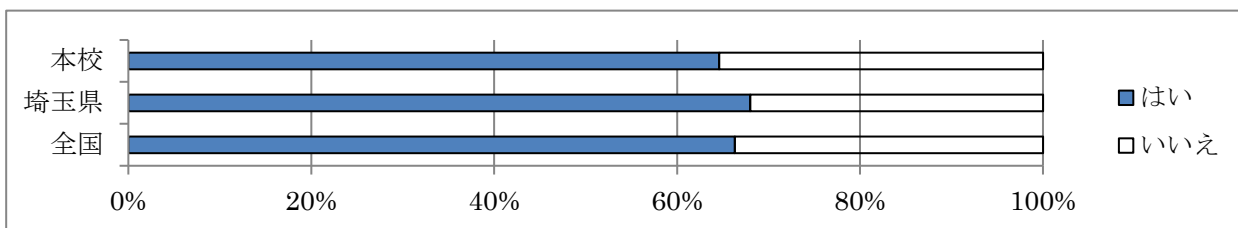
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



将来の夢や目標を持っていますか



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

全ての領域で、全国および県の平均正答率を上回りました。特に「言葉の特徴や使い方」や「書くこと」は高い定着が見られます。一方で、「情報の扱い方に関する事項」は、他の領域と比較して平均正答率が低い傾向となりました。意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係について理解することにやや課題が見られます。

【問題（例）】

【問題例①】

問題例 問題 3 四

表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する問題。

正答例

ア (あの日から数日が過ぎた。)窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。

イ 「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

本校正答率 63.1%

全国正答率 49.3%

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる問題です。「あの日から数日が過ぎた。」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書くとともに、工夫した表現が、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書く必要があります。情景描写を意識して読み深めることや、表現技法を授業で学び身につけていること、文章を書いた後に推敲をしたり他の人に読んでもらいフィードバックを受けたりするなどの学習活動を多く経験していることが成果の上昇の要因の一つであると考えられます。

誤答については、文頭の表現に適切に続く形で書けていないことや、効果を具体的に書けていないことが考えられます。

【問題（例）】

【問題例②】

問題例 問題 1 三

話し合いの一部である「おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。」という発言について説明したものとして適切なものを選択する問題。

正答例

おすすめの本のコーナーを利用することが自分とは異なる価値観に触れることになるという意見を、理由を明確にして述べている。

本校正答率 43.3%

全国正答率 44.0%

意見と根拠の関係について理解しているかどうかをみる問題です。「自分とは異なる価値観に触れることもできますね」という部分が意見で、「おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されている」という部分が意見を支える理由であることを捉える必要があります。話し合いの一部である「自分とは異なる価値観に触れることもできますね」という部分を、意見を支える理由や、具体例であると誤って捉えてしまっていると考えられます。

情報と情報との関係を正しく捉えるためには、文章や会話全体の流れを把握するとともに、それぞれの情報の特徴や関係性を明確にする必要があります。比較や対比を行ったり、情報の信頼性や妥当性を考えたりすることで、情報同士の関係をより深く理解できます。また、ディスカッションやディベートを行い異なる視点を意識することも、正しく捉えることにつながると考えられます。

<数 学>

<p>【領域別】 「数と式」、「図形」、「関数」の領域では、本校の平均点が、県平均、全国平均をともに上回りました。「データの活用」の領域でのみ、本校の平均点が、県平均を下回ったが、全国平均は上回りました。「数と式」は、全国平均を10点以上上回っており、本校生徒の計算能力の高さがうかがえます。</p>									
<p>【問題（例）】</p> <p>問題例 n を整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表す。</p> <p>正答 $2n$、$2n+2$</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>本校正答率</td> <td>60.7%</td> </tr> <tr> <td>全国正答率</td> <td>34.8%</td> </tr> </table>	本校正答率	60.7%	全国正答率	34.8%	<p>【問題（例）】</p> <p>問題例 複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較する。</p> <p>正答 選択肢の中から正解を1つ選択する</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>本校正答率</td> <td>38.6%</td> </tr> <tr> <td>全国正答率</td> <td>48.5%</td> </tr> </table>	本校正答率	38.6%	全国正答率	48.5%
本校正答率	60.7%								
全国正答率	34.8%								
本校正答率	38.6%								
全国正答率	48.5%								
<p><分析></p> <p>要因 2年次に、式を用いて説明する授業で、nを用いて、様々な数を表す問題を扱いました。その際に、教え合い活動なども行い、多くの生徒が、nを用いて数を表す力が身に付いたと考えられます。</p>	<p><分析></p> <p>要 因 四分位範囲は、2年次の最後の単元です。数値の並びを見て、四分位数や四分位範囲を求める問題は多く扱ったが、実際の実験等の結果と関連づける問題は少なかったです。</p> <p>改善策 会話形式や、実験結果をもとに、四分位数を求める問題を扱います。</p>								

<質問紙調査から>

<p>【(例1)】</p> <p>総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>本校正答率</td> <td>93.6%</td> </tr> <tr> <td>全国正答率</td> <td>82.2%</td> </tr> </table>	本校正答率	93.6%	全国正答率	82.2%	<p>【(例2)】</p> <p>1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>本校正答率</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>全国正答率</td> <td>75.4%</td> </tr> </table>	本校正答率	84.4%	全国正答率	75.4%
本校正答率	93.6%								
全国正答率	82.2%								
本校正答率	84.4%								
全国正答率	75.4%								
<p><分析></p> <p>全国の平均より9.4ポイント上回っています。</p> <p>総合的な学習の時間では、タブレットを使用してインターネット等から調べた内容をレポートにまとめ、学級で発表する場面があります。さらに、学級、学年の代表生徒の発表を見る機会があり、伝え方の良い例を学ぶ機会を設定しています。</p>	<p><分析></p> <p>全国の平均より9ポイント上回っています。課題に正対した振り返りや学習カードやGoogleフォームを使うなどして行っています。学習内容だけでなく、これからの自分について思考することや、身近なことと関連付けるなど、生徒が主体的に考えたり、表現したりできるよう工夫しています。</p>								

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和6年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

中学校第1・2・3学年 原則として全生徒

3 調査実施日

令和6年5月9日（木）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

中学校第1学年 国語、数学 第2学年、第3学年 国語、数学、英語

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

<教科に関する調査> は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた生徒の割合…前年度から学力が伸びた生徒の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第1学年			第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	14	63.5	60.5	13	70.6	67.6	12	75.0	67.5
情報の扱い方、我が国の言語文化	4	80.5	74.0	8	44.1	43.7	7	76.9	69.5
話すこと・聞くこと・書くこと	4	63.6	58.9	3	70.2	72.4	6	64.4	55.4
読むこと	8	60.7	52.3	7	62.4	60.7	8	79.2	70.4
※学力の伸びた児童の割合		↑↑↑	↑↑		↑↑	↑↑		↑↑↑↑	↑↑↑

数学	第1学年			第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
1年数と計算2,3年数と式	11	67.6	61.0	14	60.4	53.7	11	71.9	66.1
図形	11	60.9	54.4	8	39.9	33.3	8	72.8	59.3
1年変化と関係2,3年関数	7	58.5	51.4	6	64.1	57.6	7	64.3	57.0
データの活用	4	42.7	34.1	5	58.9	49.3	7	48.3	42.3
※学力の伸びた児童の割合		↑↑	↑↑		↑↑↑↑↑	↑↑↑↑		↑↑↑	↑

英語	第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
聞くこと	10	82.1	81.1	10	71.4	59.9
読むこと	18	60.2	58.0	18	64.1	54.0
話すこと	2	38.9	37.0	2	61.4	45.5
書くこと	6	52.5	49.8	6	62.9	50.7
※学力の伸びた生徒の割合					↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑

<生徒への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段: 県の達成率、下段: 本校の達成率、 は80%以上 (%)

内容	項目	第1学年	第2学年	第3学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	98.0 97.4	96.6 94.7	95.9 99.3	
	② 授業の開始時刻	96.0 91.4	96.7 92.4	97.1 96.5	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	88.7 80.3	89.9 86.3	92.5 92.2	
	④ 整理整頓	75.2 70.2	78.0 75.6	80.2 79.4	
	○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
		⑤ あいさつ	84.7 76.8	83.0 76.3	85.3 85.8
⑥ 返事		91.4 84.8	91.6 87.0	93.2 97.9	
4 ていねいな言葉づかいを身に付ける					
⑦ ていねいな言葉づかい		90.2 87.4	91.2 86.3	93.4 96.5	
⑧ やさしい言葉づかい		89.6 88.1	88.2 86.3	91.4 93.6	
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る				
	⑨ 学習準備	91.6 88.7	91.7 86.3	93.9 96.5	
	⑩ 話を聞き発表する	79.4 74.8	79.1 68.7	82.1 85.8	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	93.6 94.0	94.7 90.8	96.3 97.2	
	⑫ 掃除・美化活動	88.0 84.1	87.5 80.9	89.1 87.2	

本校の学力向上の取組

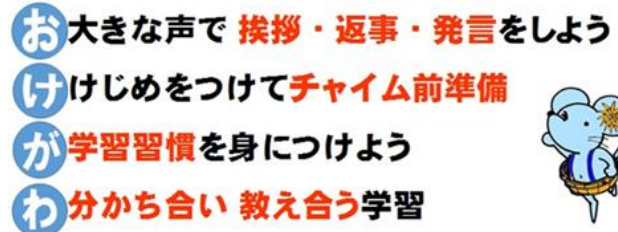
授業における取組

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組

☆1 「桶川中授業スタイル」の徹底・「お・け・が・わ」の合い言葉

- (1) お・大きな声で挨拶・返事・発言をしよう
開始の挨拶からきちんとしたコミュニケーションをとり、気持ちを授業に切り替え、授業内の返事や発言もしっかりとした受け答えにします。
- (2) け・けじめをつけてチャイム前準備
授業開始前から準備をする習慣をつけ、チャイムが鳴っている間には開始の挨拶ができるよう時間を意識します。
- (3) が・学習習慣を身につけよう
授業をきちんと受けるための予習や、確認の復習などを含め、計画的な家での学習習慣を確立するようにします。
- (4) わ・分かち合い 教えあう学習
「主体的・対話的で深い学び」ができるように、様々な形態で意見交流する時間を確保し、互いの理解を深め、コミュニケーション能力を向上させます。



■2 話し合い活動の積極的導入と活性化

各教科等で話し合い活動を積極的に導入しています。グループ活動、ペア学習など教科の特性を生かした様々な形態で意見交流を行っています。

- (1) ペア・グループ活動での相互評価
- (2) 自己表現力を高めるための発表練習
- (3) 生徒間の教え合い学習
- (4) 意図的な話し合い活動の場面設定
- (5) ジグソー学習などの学習形態の工夫
- (6) タブレットを活用した発表、意見共有

3 学習に対する態度の育成

- (1) 学習内容と日常生活との関連をさせながら、身近な題材を取り上げて学習意欲を高める指導をしています。
- (2) タブレットなどのICT機器を活用し、疑問や探究心を湧き立たせるような授業を展開しています。
- (3) 教師による評価だけでなく、生徒自身による自己評価や、生徒同士による相互評価を行っています。

授業以外の取組

1 朝読書の実施

原則週3回10分間の読書を継続しています。

2 個に応じた指導の実施

定期テスト前に個別指導や質問の時間を設け、学習内容の補充を行っています。

3 家庭学習の習慣化

予習と復習は学習内容の理解を深めるため、自主学習ノート等を使いしっかりと取り組むよう指導しています。

4 シラバスを活用し、学習計画の確実な実践

見通しをもった学習内容を計画し、評価・指導しています。

研究主題 豊かに学び続ける生徒の育成

～学力向上のための指導方法の工夫～

授業での取組

① 桶川中授業スタイル

- お**大きな声で挨拶・返事・発言をしよう
- け**はじめをつけてチャイム前準備
- が**学習習慣を身につけよう
- わ**分かち合い 教え合う学習



② 見通しを持たせる

- 本時の課題の明示



③ ICT活用

- 調べる
- まとめる
- 意見交換
- 分析
- 記録



④ 話し合い活動

- 授業時の班活動
- 学級会



⑤ まとめの工夫

- 時間の確保
- プリントやタブレット活用



⑥ TT指導・個に応じた指導

- 数学、英語のTT指導
- 定期テストに向けた質問日設定



学習のベースとなる計画や環境づくり

学習指導要領にそった計画の作成

- ①学習指導要領に対応した教育課程の編成・点検・改善
- ②学習指導要領に対応した年間指導計画の作成・改善
- ③学習目標の明確化とシラバス作成・活用

家庭・地域社会との連携と工夫

- ①学校運営協議会
- ②環境ボランティア
- ③朝のあいさつ運動
- ④祭り巡回指導
- ⑤HP・学校だより等の情報発信

保護者・地域の皆様へ

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力くださりありがとうございます。
桶川中学校は、それぞれの授業や学年の取組、委員会、生徒会活動など、学校生活をよりよいものにするための活動をしています。

学力向上への取組として、『豊かに学び続ける生徒の育成～学力向上のための指導方法の工夫を通して～』を研究主題に設定して取り組んでいます。変化の激しいこれからの社会において、一人一人が自ら考え、多様な人と関わり、いろいろな方法や手段を選択して解決できるようにすることが必要となると考えています。したがって、生徒が多様な人と関わり、学びの喜びや楽しさを味わいながら、豊かに学び続けることができるように、私たちは日々授業改善に努め、「わかる授業」「楽しい授業」を実践していきます。

そして今後も、教職員が一丸となって様々な課題を解決していくとともに、「地域に根差した信頼ある学校づくり」と「地域の誇りとなる桶中生の育成」を目指して努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

